



ほけんだより



3月になると少しずつ寒さも和らいできます。しかし、この時期は朝晩だけでなく、日中も突然真冬の寒さが戻ってくることもあるので、注意しましょう。今年度もあと1ヶ月…。風邪には十分気を付けてください。

3月3日は耳の日です

「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は『耳の日』と呼ばれています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さんの様子をよく観察しましょう。

こんな症状が見られたら、 耳鼻科に相談を

- 向かい合って話せば通じるが、背後から声をかけると返事をしない。
- テレビの音量が大きく、近付いて見る。
- 会話をしている、何度も聞き返す。
- 話しかけられてもぼんやりしたり、後から聞き返したりすることが多い。
- よく耳を触っている。



滲出性中耳炎

滲出性中耳炎(しんしゅつせいちゅうじえん)とは、鼓膜の奥に液体が溜まる病気で、3～10歳に多く見られます。発熱や痛みがなく、聞こえにくいことが唯一の症状のため発見が遅れる場合があります。耳の聞こえに異変があるようなら、早めに耳鼻科を受診しましょう。治療に時間がかかりますが、ほとんどの場合は治癒します。放置しておくと、入院、手術が必要になることや、難聴が原因で心や言葉の発達にも影響するので、治療は根気よく続けましょう。

急性中耳炎

急性中耳炎(きゅうせいちゅうじえん)には、発熱、耳の痛み、耳だれなどの症状が見られます。機嫌が悪い、耳をよく触る、風邪が治っても熱が下がらない…などの症状が見られる場合は急性中耳炎を疑ってみましょう。

急性中耳炎になってしまったら…

- 痛み、発熱のある場合は安静にします。
- 痛がる時は耳を冷やしましょう。温めると痛みが強くなります。
- 鼻水はすすらないようにします。

